

岩手県内 4大学への食料支援! SDGs 達成へ向けて



岩手大学贈呈式 7/12(月)



盛岡大学贈呈式 7/19(月)



岩手県立大学贈呈式 7/20(火)



富士大学贈呈式 7/26(月)



J A全農いわてでは、岩手県内4大学「岩手大学」「岩手県立大学」「盛岡大学」「富士大学」の学生食堂に対し、岩手県産農畜産物の牛肉や野菜等の食材提供と贈呈式を実施しました。

今回の取り組みは、県産食材の提供を通じ、学生の栄養面でのサポートを行うとともに、全国各地から岩手県内の大学で学ぶ学生に対し、「新・純情産地いわて」を幅広くPRすることを目的としています。

J A全農いわてでは、今年4月に目指すべき理想像を、「つなげる」「ひろげる」「根を張る」の3つを柱とした「純情産地いわてブランドプロミス」として制定しており、今回の食材提供はその中の地域社会に「根を張る」取り組みとして、またSDGs（持続可能な開発目標）を通じて豊かな未来を創る取り組みの一つとして実施している。

贈呈式では高橋本部長、林副本部長、管理部三浦次長が挨拶を述べ、岩手県は冷涼な気候と豊かな大地の特徴を生かし、お米の栽培、野菜・果実・花きの栽培、そして畜産生産が盛んであり、全国でも稀に見る生産品目のバランスがとれた産地であること、また今回の取り組みを通じて、全国各地から岩手県内の大学に学びに来てくれた学生の皆さんに、「純情産地いわて」の農畜産物のおいしさを知らせてもらえることを期待していることを伝えました。

学生食堂では、通常価格より安価な値段で学生に提供することができ、学生たちは県産食材に触れるきっかけとなりました。J A全農いわては、こうした取り組みを通じ「地域社会の一員として、強く根を張る」活動を今後も強化していきます。

全国へ「純情産地いわて」を発信

令和3年6月26日(土)、27日(日)

「第16回食育推進全国大会inいわて」

令和3年6月26日(土)、27日(日)に開催された「第16回食育推進全国大会inいわて」に「2021いわて純情むすめ」と「じゅんき君」が出演しました。今年の開催は新型コロナウイルス感染防止のためWEB開催に変更となりましたが、大会では、「2021いわて純情むすめ」が元気いっぱい「純情産地いわて」の魅力为全国にPRしました。大会2日目には小岩井農場でLIPSダンススクールの皆さんとともに食育ダンスを踊り、大会を盛り上げました。大会の様子はこちらからご覧いただけます ▶ <https://syokuikutaikai16th-iwate.jp/>



参加者での記念撮影

二戸の風土が生み出す最高峰の贈りもの

令和3年6月29日(火)

さくらんぼ新ブランド「恋の雫」ブランド発表会

令和3年6月29日(火)JA新しいわて二戸営農経済センターにて、さくらんぼの新ブランド「恋の雫」の発表会が行われました。二戸営農経済センター岩崎実センター長が新ブランド発表の挨拶を述べました。

「品質的には、『夏恋』『極み』に引けを取らず、置き並べの手間を省力化した簡易並べ方式による主力の「佐藤錦」と「紅秀峰」の上位等級に「恋の雫」とネーミングし、新たな商標・パッケージとして販売することとなりました。さくらんぼは、夏の果物として人気の高い商材であり、岩手の二戸地域のさくらんぼを県内外の多くの消費者の方に味わっていただきたい。」と話しました。

来年度も引き続き、JA新しいわての新ブランド「恋の雫」をよろしくお願いたします!



さくらんぼ生産者と二戸営農経済センター岩崎実センター長



「恋の雫」のパッケージ

令和3年度「岩手県JA稲作部会連絡協議会」通常総会

令和3年6月30日(水)

令和3年6月30日(水)にJAいわて中央紫波支所にて、「令和3年度岩手県JA稲作部会連絡協議会通常総会」を開催しました。当協議会は県内JA稲作部会、JA、本会にて構成されており、主に①計画的な水稻生産と品質維持・向上を図ること、②系統米穀事業の集荷・販売強化を図ることを目的として、令和元年6月に発足しました。

冒頭で、JAいわて花巻水稻生産部会連絡協議会長であり当協議会長でもある川村厚氏は「当協議会で県内水稻生産を盛り上げ、次世代が希望を持てる水稻生産環境を繋げたい」と挨拶しました。全ての議案が承認された後に、本会から「米穀情勢」の報告および「令和4年産以降の作付品種ビジョン」について提案し、意見交換を行いました。閉会時には本会越沼副本部長から「今回頂いたご意見を集約し、県内の水稻政策に反映させるよう働きかけたい。」と述べました。

今後の当協議会は、岩手県産米の主要販売先と意見交換等を行う等、令和3年産米の販売強化に向けた活動を行っていきます。



川村会長による挨拶

『いわて牛』が地元・ゆかりの人に愛されるための仕組みを考えよう!

令和3年7月20日(火)

「スマイルチャージいわてプロジェクト」最終審査会

JA全農いわては、岩手県立大学と盛岡駅ビルフェザンが2015年度から取り組む学生協働プロジェクト「FES”AN×STUDENT スマイルチャージいわてプロジェクト」に昨年度より参加しています。7回目となる今年度は、昨年度同様に商品開発(モノ)ではなく、課題解決(コト)に向けた新たなチャレンジとなっています。「いわての農業」の中で、今年度は「いわてモー!モー!プロジェクト2021」にちなんで「『いわて牛』が地元・ゆかりの人に愛されるための仕組みを考えよう!」をテーマに、課題解決に向けた企画を113名・29チームに分かれ、3か月間企画立案を行いました。

令和3年7月20日(火)、滝沢市の岩手県立大学講堂にて最終審査会が行われました。販路拡大のアイデアについて全29チームから一次審査を通過した6チームの発表が行われました。最終審査会では、プロジェクト関係者のほか、JA全農いわてから、下出貴志総合企画課長、菅田公平畜産販売課長、畜産販売課から、尾形泰道職員、秋山翔平職員が審査員として出席しました。厳正な審査により「最優秀賞」「フェザン賞」「優秀賞」がそれぞれ選ばれました。

最優秀賞には、「いわて牛の魅力がギュギュっとオンラインツアー」が選ばれました。この企画は「いわて牛」の認知度を向上させるため、消費者と生産者をオンラインで結び農場ツアーを行うというもので、今の時代にマッチした学生ならではのアイデア溢れる提案が評価されました。

学生が考えた企画は、実際の事業として展開することを目指してまいります。



最優秀賞チームへ表彰状とみのるダイニングお食事券が贈られました

ハウス食品キャンペーン

令和3年7月5日(月)

「岩手県産ピーマンと夏野菜の揚げ焼きカレー」岩手県知事 表敬訪問

JA全農いわては、ハウス食品(株)とともに岩手県庁の達増知事を訪れ、「いわて純情野菜」を使ったカレーメニューをPRしました。「2021いわて純情むすめ」からは白藤彩絵が参加し達増知事と一緒に岩手県産野菜をPRしました。

このキャンペーンは2010年から開始され、今年で11年目。毎年「いわて純情野菜」を使用したカレーレシピを発表しており、今年のレシピは「岩手県産ピーマンと夏野菜の揚げ焼きカレー」です。たまねぎ(JAいわて花巻)、トマト(JA新しいわて)、なす(JAいわて平泉)、ズッキーニ(JAいわて中央)を使用しました。また、いわて牛と県オリジナル水稻品種「銀河のしずく」も使用し、オールいわてを味わうことができるカレーとなっています。「いわて純情野菜」を使用した「岩手県産ピーマンと夏野菜の揚げ焼きカレー」をぜひご賞味ください。

レシピはこちらからご覧いただけます。
▶ <https://housefoods.jp/recipe/index.html>



達増知事への表敬訪問



岩手県産ピーマンと夏野菜の揚げ焼きカレー



まへむきに
ひたむきに
純情産地
いわて

INTRODUCTION

管理部

管理部の取り組みについて

JAタウン「いわて純情館」

- 岩手の農畜産物・加工品を販売
- 現在54商品を出品中
- 販売を通して「純情産地いわて」を周知

いわて純情セレクト

- 「純情産地いわて」が買えるお店
- 「純情産地いわて」から厳選した商品を自信を持ってお届けします
- 現在 35 商品を出品中
(季節毎に掲載商品は随時更新されます)

みのるダイニング



- 盛岡駅ビル フェザン おでんせ館 1 階
- 本館直営の飲食店舗
- 「純情産地いわて」の店

- 県産食材中心のメニューや「食を楽しむ」場所を提供
- 旬の時期に合わせたフェアやキャンペーンメニューの提供
- 他企業とコラボし、県産畜産物の価値 UP
- テイクアウト販売を実施

4. 純情むすめによる県産農畜産物のPR活動

「食育推進全国大会 in いわて」などの各種イベントや販売会に参加し、各地で県産農畜産物の魅力をアピールしています。



5. 県内の大学への食料支援活動

管理部では、県産食材の提供を通じ、学生の栄養面でのサポートを行うとともに、全国各地から岩手県内の大学で学ぶ学生に対し、「新・純情産地いわて」を幅広く PR することを目的として食材提供を実施しました。

管理部では様々なツールを活用し「純情産地いわて・純情ブランド」の認知度向上と県産農畜産物のPR活動を実践しています。

1. 広報活動

(1) 「広報誌クララ」の発行

- 本会・JA の取り組みを JA・生産者・消費者に紙面でお伝えしています。
- 毎月1日発行
- 発行部数 1300 部



(2) SNS を活用した情報発信

- いわて純情むすめ Facebook
- いわて純情むすめ Instagram
- みのるダイニング Facebook
- JA 全農いわて Youtube

2. スポーツ大会への協賛

主に県内小学生スポーツ大会への冠協賛を行い、小学生、保護者への食の大切さを伝えています。

- いわて牛カップ S-1 卓球グランプリ
- いわて純情りんご杯 小学生バレーボール育成大会
- いわての牛乳カップ 全国スポーツ少年団軟式野球 交流大会岩手県予選
- 純情産地いわてカップ 岩手県小学生男女ソフトボール大会
- 純情産地いわて杯 岩手県スポーツ少年団柔道大会
- いわて純情米選手権 岩手県ミニバスケットボール交歓大会



3. リテール事業

県産食材を含む国産食材を使用した直営店舗の運営や、e コマース事業の実施により「安全・安心」と「美味しさ」を消費者にお届けします。

- 店舗・e コマース
 - みのるダイニング
 - JA タウン「いわて純情館」
 - JA タウン「いわて純情セレクト」
 - 紫波町ふるさと納税



純情ブランド認知度向上と消費者・実需者に向けた広報活動の実施

JAタウン いわて純情セレクト

<https://www.ja-town.com/shop/c/cB4/>

「いわて純情セレクト」では、7月13日(火)より「いわて純情野菜 旬の詰め合わせBOX」の販売をスタートしました!!
盛岡の青果卸「戸塚商店」の目利きで厳選した商品を7品目詰め合わせをお届けします!!



2021年7月13日～9月30日までの期間限定
例:きゅうり、トマト、ピーマン、キャベツ、にんにく、とうもろこし、えだまめ等を7品目をお届けします!
段ボールには「ブランドプロミス」「ロゴマーク」が印字されています!
詳しくはいわて純情セレクトをチェック!!

7月下旬～8月上旬(例)

- ・きゅうり・とまと・ピーマン・きゃべつ・生しいたけ
- ・とうもろこし・えだまめ・なす・いわて春みどり
- ・ほうれんそう・レタス・サニーレタス・春菊など

8月中旬～9月下旬(例)

- ・きゅうり・とまと・ピーマン・きゃべつ・にんにく
- ・とうもろこし・えだまめ・なす・いわて春みどり
- ・ほうれんそう・レタス・サニーレタス・春菊・生しいたけなど

いわて純情野菜 旬の詰め合わせBOX 販売価格: 2,980円(税込)

「野菜BOX」販売への想いや事業発展にける想いをお伺いすべく(有) 戸塚商店の社長である戸塚修司様にインタビューを行いました。

Q.経営理念を教えてください
A.野菜、果物を納品することによって病院や飲食店などのお客様に貢献をすることです。
多くのお客様に「配達してもらってよかったな」と喜んでいただきたいです。
ゆくゆくは社員、社員の家族の幸せにも繋がってくると思います。



Q.事業発展にける想いを教えてください
A.野菜、果物を販売することによってお客様のニーズに添えてきました。
これからもお客様のニーズに添えていきたいと思っています。
1年後には新工場を設立する予定です。
新工場も衛生管理を徹底しているので安全・安心な野菜・果物をお届けします。

Q.野菜BOXをどんな人に食べていただきたいですか
A.外出が出来ない方や、産直が近くにない都会の方に味わってほしいです。
岩手に興味を持っていただき、観光に来ていただきたいです。
「野菜BOX」を通して岩手を好きになってもらいたいと思います。
ぜひ落ち着いたら岩手にお越し下さい!!お待ちしております。



TAC会議風景

J A内外の部門間連携を進めて担い手により専門的で質の高いサービスを提供するため、①TAC部署内の情報共有、②事業部門との目標値設定と同行訪問、③行政・関係機関への協力要請を行っています。

TACは担い手訪問後、システムに面談記録を入力して管理者へ業務内容を報告、必要に応じて関係部署(米穀・園芸・資材・畜産・金融)とも協議し即時対応します。週1回の地域グループ内の「TACミーティング」では、活動振り返りとエリア内の情報共有を行っています。また、今年度よりTACは担当地区の支店に必ず立ち寄り、担い手から得た情報を支店長・管理課長へ報告して、支店内でも対応できる仕組みを作り実践しています。

また、JA常勤役員・全TAC・営農部長・各事業課長・金融部門が一同に会した月次の「TAC会議」では、担い手の課題や要望を報告、その対策を全体で協議しています。今年度は事業部門が担い手に提案したい商品やサービスについて、TAC自らが成果目標値を設定、その進捗管理もTAC会議内で行っています。グループで対応した内容は、グループ各部署から本店自部門へ横断的にも伝達が行われており、TAC会議ではJA全体の課題と共通の対応策として共有する他、同席する常勤役員の判断や指示を仰ぐことで、スピーディーな解決が可能となっています。

さらに、このTAC会議には県中央会と全農県本部(営農・米穀・資材)も参加し、情報提供やTACとの同行訪問の報告等を行っています。JAいわてグループが一体となり、担い手が抱える様々な課題へ総合的に対応、解決策となる事業提案ができるような体制を整えています。

JAいわて花巻の農家所得増大と生産基盤拡大に向けたTACの出向く活動と横串機能による総合事業提案の取り組み、全農岩手県本部も全力で支援していきます!



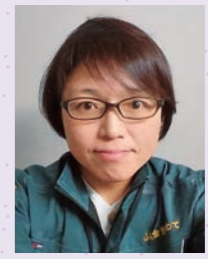
ドローン活用提案

TRY! 営農支援リポート

生産者と共に奮闘する 営農支援部の活動をリポート



J Aいわて花巻のTAC活動と総合的事業提案に向けた「部門間連携」



営農支援課 佐々木歩

J Aいわて花巻では、自己改革の一環として「出向く活動」を積極的に進めています。TACとは担い手との対話から状況に合った事業提案を行い、意見要望をJA事業に反映させ、地域農業の維持発展を支援する活動を行う担当者です。今年度は、担い手とより親密な信頼関係の構築、事業提案による農家所得の増大と生産基盤の維持拡大を目指し、花巻・北上・西和賀・遠野に計12名の専任TACを配置しました(参考:TAC配置図)。

また、JA常勤役員・全TAC・営農部長・各事業課長・金融部門が一同に会した月次の「TAC会議」では、担い手の課題や要望を報告、その対策を全体で協議しています。今年度は事業部門が担い手に提案したい商品やサービスについて、TAC自らが成果目標値を設定、その進捗管理もTAC会議内で行っています。グループで対応した内容は、グループ各部署から本店自部門へ横断的にも伝達が行われており、TAC会議ではJA全体の課題と共通の対応策として共有する他、同席する常勤役員の判断や指示を仰ぐことで、スピーディーな解決が可能となっています。

令和3年度TAC管理者配置図

TAC管理者(統括)											
次長兼営農企画課長 小原 正											
花巻地域営農グループ			北上地域営農グループ			西和賀地域営農グループ			遠野地域営農グループ		
管理者	営農振興課長	高橋 新也	管理者	営農振興課長	阿部 昌弘	管理者	営農振興課長	高橋 守	管理者	営農振興課長	葛巻 健一
TAC	課長補佐	田中 勝	TAC	調査役	小原 健	TAC	調査役	高橋 望	TAC	調査役	鈴木 恵一郎
TAC	課長補佐	菅野 佳彦	TAC	嘱託	千田 京悦				TAC	嘱託	藤田 宏
TAC	調査役	葛巻 剛	TAC	パート	小原 隆一				TAC	嘱託	山川 亮一
TAC		梅田 渉									
TAC		菅野 秀和									



生産資材部 農業機械課
いとう りょうじ
伊藤 竜愛さん

●趣味・特技

ドライブ、音楽鑑賞

●現在の担当業務

製品の受発注業務、製品在庫管理業務など

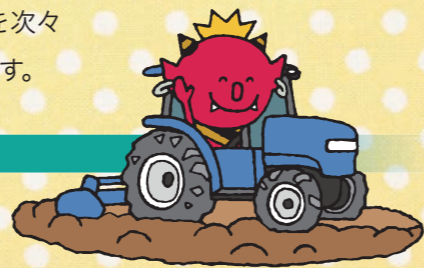
●これからどんな職員になってみたいか

何事も積極的に取り組み、責任ある業務を次々
任されて、信頼を得られる職員になりたいです。

●その他アピール

50メートル走は誰にも負けません。

JA全農いわての
純情人
じゅん じょう びと



純情ブランド消費地の「今」をレポートします。

消費地だより



園芸販売センター
石嶋 彰

ロメイン販促フェアから岩手県産フェアへ

新型コロナウイルスの影響も1年が経過し、大田市場内で行われていた販促イベントも試食提供や呼び込みにより行われていたものから、動画による産地・品目紹介に内容を変えて開催されています

が、今までのように興味を示して人が集まるといったことは少ないと感じています。
例年7月4日にロメインレタスの販促を行っていましたが、新型コロナウイルスの影響から、昨年

に引き続き大田市場内での消費宣伝は行わず、並行して行っていた量販店での「ロメインレタス販促フェア」を「岩手県産フェア」として7月2日より5量販店の10店舗で行いました。
この「岩手県産フェア」は、東京青果が窓口となり7月4日が「シーザーサラダの日」ということから、ロメインレタスの販促を目的として6年前から開催しており、一昨年末ではロメインのみによる販促イベントとして開催をしていましたが、昨年から新型コロナウイルスの影響により量販店の客足が伸びていることか

ら、今年度はほうれん草・ズッキーニ・きゅうり・ピーマンと品目を増やし「岩手県産フェア」という形で行われました。また、この販促イベントの開催内容は、東京青果のホームページやインスタグラムにも載せてあり、岩手県産の情報発信をしています。
ロメインレタスの販売担当者には、今年の販売環境として長野県産を中心に入荷が多い中、毎年行っているこの販促イベントのおかげで、岩手県産を優先的に購入していただいていると評価してもらっています。



レツツライ クッキング orders 23
Let's try cooking

魚介類の美味しさUP!
きゅうりの冷たいソース

- ◇材料(2人分)
- A【きゅうり…200g、玉ねぎ…30g、酢…70cc、エキストラバージンオリーブオイル…50g、塩・砂糖…各5g】
 - 飾り付け用きゅうり…お好みで、ホタテの貝柱(刺身用)…100g、好みのハーブ…適量

- ◇作り方
- 1 飾り用のきゅうりをピーラーでスライスし、氷水に入れておく。
 - 2 Aの材料をすべて一緒にミキサーにかける。
 - 3 ホタテの貝柱を3枚にスライスして皿に盛り、その上に1のきゅうりを氷水から取り出して飾る。
 - 4 2のソースを3にかけ、好みでハーブを飾る。

※ホタテ貝のほかに生蠣(カキ)やサーモン、白身魚にこの「きゅうりの冷たいソース」をかけても美味しい。

料理監修 オーナー/佐々木朋美
紫波郡矢巾町又兵衛新田第7地割199
くるみアパートメント1F
TEL 019-681-7337
Mail tom1123tom@icloud.com
https://tom-creperie-deli.com



ひのろぎにんぎょ × 愛蔵

MINORU DINING

JAいわて花巻 PRESENTS

花巻食材

キャンペーン

JAいわて

キャンペーン期間
8/31 まで
Tue

食材例

ナス、玉ねぎ、きゅうり、雑穀、
花巻黒ぶどう牛、白ゆりポーク

キャンペーン期間中、当店で使用する右記の食材は
JAいわて花巻管内（花巻市・北上市・西和賀町・遠野市・
釜石市・大槌町）より産地直送でご提供します。



編集後記 梅雨が明けて近頃は本当に暑い日が続いていますが、皆さんはどうお過ごしでしょうか？
私は家の外に出るだけで汗だくになります。
暑さで食欲がなくなる季節ですが、純情野菜たっぷりのオールいわてのカレーを食べてこの暑い夏を乗り切りましょう！（清川）

KLARA タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、 에스ペ란토語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかかという願いが込められています。



私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

